

○ジュニアSA 理学療法学科2年次生 割出早稀さん



・SAをして、やりがいのあること、苦勞していること

学修支援のSAをしていて、1年生が「あっなるほど！」や「わかった！」と言ってくれたときにやりがいを感じています。苦勞していることは、相手が理解しやすいように説明することです。始めは言葉での説明が多く、1年生に上手く伝えられないと感じていました。しかし、最近では図などを用いて説明するように心がけていると、1年生から「わかりやすい！」という声が得られました。今後も続けていきたいと考えています。

・学修支援参加学生へのメッセージ

大学は高校よりも厳しく、点数が1点でも足りない場合には単位を取ることができません。したがって、全ての教科を満遍なく勉強できたら1番よいのではないかと考えています。特に定期試験が近づいてきたら、「専門科目の勉強に時間を費やしたいから学修支援参加したくないな」と思うときもあるかもしれません。そのようなときは、「学修支援の時間は一般教養科目を勉強する時間にして、その他の時間で専門科目の勉強をしよう」というように決めて、学修支援の時間を有効活用して定期試験に挑んでほしいです。

・医療保健学部理学療法学科を選んだ理由

私は高校3年生までアルペンスキー競技をしており、その競技人生の中で理学療法士の方と関わる機会がありました。その際に、自身もこの職業に就きたいと憧れを抱いたことがきっかけで理学療法学科に進学しました。

・自分自身の学修でこれから取り組みたいこと

まずは、身体の骨や筋、神経について3次元的に理解し、瞬時に頭の中で想起できるようにしていきたいです。次に、今のうちから国家試験の過去問題に挑戦をし、試験の傾向などに慣れていきたいと考えています。